



生物多様性アクション大賞 2017 授賞式参加報告

去る12月8日（金）13:30から主催・国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）共催・一般財団法人セブーン・イレブン記念財団による「生物多様性アクション大賞 2017」の受賞者決定及び授賞式が行われました。フォーラム事務局も入賞38団体に入り、参加してきました。

当日は、優秀賞、特別賞の中から審査員による農林水産大臣賞と環境大臣賞が、おこなわれ、農林水産大臣賞には「つたえよう部門 魚部」、環境大臣賞には、「まもろう部門 榎加藤建設」が受賞しました。

優秀賞、特別賞受賞者のプレゼンや主催者側による主旨説明や講評などが行われました。

開会のあいさつが、環境省自然環境局 生物多様性主流化室 長田室長から始まり、続いて5部門の表彰授与、受賞団体のプレゼンテーションが行われました。



農林水産大臣賞には「つたえよう部門 魚部」表彰

詳細は以下の環境省のウェブサイトを参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/104816.html>

東京湾最官民連携フォーラムは、江戸前ブランド育成PTの活動を中心に「たべよう部門」に応募し、入賞となりました。※生物多様性アクション大賞は、「国連生物多様性の10年」の日本における広報活動の一環として2013年にスタートし、今年は5回目を迎えています。



記念撮影

気になる被り物は、体長1.3ミリ、ヒメドロムシ（農林水産大臣賞受賞「魚部」）

受賞記念撮影

今回2017年は、全体を通して、それぞれの組織・団体の活動が、好きなことを、面白がりながら、楽しみながら、学びながらの一途な姿勢が、大きな共感となり輪を広げてきて、現在の活動に至っている印象がありました。



表彰式終了後送られてきた表彰状と集合写真

